

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	びわこ学院大学
設置者名	学校法人 滋賀学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で 定 め る 基 準 単 位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
教育福祉学部	子ども学科	夜 通 信	23	6	191	220	13	
	スポーツ教育学科	夜 通 信			105			134
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

WEBシラバスの検索画面で、キーワード欄に実務家教員と入力すると、対象科目の一覧が表示される。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	びわこ学院大学
設置者名	学校法人滋賀学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.newton.ac.jp/#areaB4

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	現学校法人鶴岡学園 理事長	平成29年10月28日 ～令和3年10月27日	学校法人の運営に関すること
非常勤	前東近江市体育協会 会長	平成29年10月28日 ～令和3年10月27日	地域連携（市）に関すること
非常勤	現同志社大学 名誉教授	平成29年10月28日 ～令和3年10月27日	教育に関すること
非常勤	現社会福祉法人湖南会 理事長	平成29年10月28日 ～令和3年10月27日	地域連携（県）に関すること
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映する組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	びわこ学院大学
設置者名	学校法人滋賀学園

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部 外部評価委員会
役割	<p>本学自己点検・評価委員会規程に基づいて実施した自己点検・評価の結果の妥当性と客観性を高めるため、外部評価を実施する機関として外部評価委員会を設置した。</p> <p>実施する自己点検・評価の結果について、検証及び評価を行い委員会は、前項の評価結果を理事長に報告する。なお、理事長は、これを大学運営協議会に報告する。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
<p>(備考)</p> <p>令和元年5月25日開催の理事会において「びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部 外部評価委員会規程」を制定したところであり、今後、年度内に3名以上5名以内の委員を高等教育及び自己点検・評価に関し高度な知見があり、本学の設置目的について理解のある学外の学識経験者等の中から大学運営協議会において選考し、理事長が委嘱することとしている。</p>		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名(学部等名)	びわこ学院大学
設置者名	学校法人 滋賀学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月下旬に作成依頼(作成期間:約1ヶ月) ・専任教員(及び希望する非常勤講師)に対しては、シラバス作成のFD研修を実施している。 ・作成依頼項目は全23項目。 【講義コード、講義名、講義区分、基準単位数、授業に関する問合わせ先、必選区分、配当年次、受講者制限、担当教員、担到達目標、授業概要、授業計画表(学習内容、キーワード、学習課題(予習・復習))、教科書、参考書・参考資料等、上記到達目標の評価の方法、履修しておくべきことが望まれ科目、教材費用・実習費用等の負担費用、その他 特記事項、備考、授業用URL、授業用E-mail】 ・2月中旬から事務局及び各学科教務委員による確認を実施 ・確認結果により、修正依頼 → 3月20日前後に公表 																									
授業計画の公表方法	<p>ホームページ</p> <p>https://cns.newton.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</p>																								
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業科目の単位認定にあたっては、試験・レポート等、シラバスに記載された方法に基づき評価がなされる。 ・欠席が全授業数の3分の1以上になると、単位が認定されない。 ・評価と点数の関係は、以下の通りである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評点</th> <th>評価</th> <th>判定内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>100~90点</td> <td>S A</td> <td>特に優れた成績を示した</td> </tr> <tr> <td>89~80点</td> <td>A</td> <td>優れた成績を示した</td> </tr> <tr> <td>79~70点</td> <td>B</td> <td>妥当と認められる成績を示した</td> </tr> <tr> <td>69~60点</td> <td>C</td> <td>合格と認められる最低限度の成績を示した</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不合格</td> <td>59~0点</td> <td>D</td> <td>合格と認められるに足る成績を示さなかった</td> </tr> <tr> <td>出席日数不足</td> <td>H</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・両学科とも「卒業研究」(論文・制作・演奏等)の単位修得が必修となっている。 ・GPA制度を設けており、前学期のGPAに応じて、履修可能な単位数が変動する仕組みを設けている。 			評点	評価	判定内容	合格	100~90点	S A	特に優れた成績を示した	89~80点	A	優れた成績を示した	79~70点	B	妥当と認められる成績を示した	69~60点	C	合格と認められる最低限度の成績を示した	不合格	59~0点	D	合格と認められるに足る成績を示さなかった	出席日数不足	H	
	評点	評価	判定内容																						
合格	100~90点	S A	特に優れた成績を示した																						
	89~80点	A	優れた成績を示した																						
	79~70点	B	妥当と認められる成績を示した																						
	69~60点	C	合格と認められる最低限度の成績を示した																						
不合格	59~0点	D	合格と認められるに足る成績を示さなかった																						
	出席日数不足	H																							

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・前頁2の評価と点数の関係に基づき、各評価にGPを設定している。(①参照)
GPAの算出方法は②の通りである。
- ・各学期末の成績通知時に、各授業科目の評価とあわせて、GPAを通知している。

① 成績評価とGPの関係

評点	評価	GP
100～90点	S A	4.0
89～80点	A	3.0
79～70点	B	2.0
69～60点	C	1.0
59～0点	D	0.0
出席日数不足	H	0.0

② GPAの算出方法

GPAの算出方法

$$\frac{(\text{修得単位} \times \text{GP}) \text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数合計}}$$

※分母は不合格科目も含め、履修登録した全科目の合計単位

※添付資料 … 1年次終了時の成績分布状況資料

客観的な指標の算出方法の公表方法

ホームページ <https://www.biwakogakuin.ac.jp/wp-content/uploads/2018/05/hyouka2018.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・学科ごとに以下のとおりディプロマポリシーを定め、公表している。
子ども学科

知識・理解	子どもの心身の成長・発達に対し、一人ひとりの学習や生活を支援しうる教育、保育、福祉について専門的知識を修得している。
思考・判断	教育をめぐる様々な問題状況を積極的に予見・発見し、的確な処置のできる視座を有している。
技能・表現	教育者として教育への情熱と倫理観を持ち、高い技能と豊かな表現力を身につけている。
関心・意欲	自己の学習課題を明確にし、課題解決のための継続的な研鑽ができる。
態度	人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を持ち、国際的な視野に立って、地域社会の一員として適切な行動ができる。

スポーツ教育学科

知識・理解	人間の発達や地域の発展に対し、スポーツが貢献しうるための専門的知識や技能を修得している。
思考・判断	スポーツをめぐる様々な問題状況を積極的に発見し、国際的な視野を持ち的確な判断ができる。
技能・表現	スポーツ教育への情熱と倫理観を持ち、高い技能と豊かな表現力を身につけている。
関心・意欲	人間と地域に対し高い関心をもち、課題解決のための継続的な研鑽ができる。
態度	人間と地域に対し直接的な関わりを基本とし、現場での適切な行動ができる。

- ・卒業研究を踏まえた単位修得の状況を確認し、卒業を認定している。

卒業の認定に関する方針の公表方法

(公表方法： 学生ハンドブック ホームページ
<https://www.biwakogakuin.ac.jp/introduction/idea#diploma>)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	びわこ学院大学
設置者名	学校法人滋賀学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance
収支計算書又は損益計算書	https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance
財産目録	https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance
事業報告書	https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance
監事による監査報告(書)	https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:平成31年度事業計画書 対象年度:平成31年度)
公表方法: https://www.newton.ac.jp/pdf/h30plan_public.pdf
中長期計画(名称:びわこ学院大学 教育福祉学部 中期目標・中期計画 対象年度:2019年度~2021年度)
公表方法: https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

(2) 認証評価の結果

公表方法: https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育福祉学部
教育研究上の目的(公表方法: 学生ハンドブック ホームページ https://www.biwakogakuin.ac.jp/introduction/idea#motto)

(概要)	
<p>本学の母体である学校法人滋賀学園の創始者森はなの80余年の長きにわたり提唱してきた「地域に貢献できる人材育成」を建学の精神として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、国際的な視野及び幅広く高度な学識を身につけた有為な人材を育成し、もって地域社会の発展と学術・文化の向上に寄与することを目的とする。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：学生ハンドブック ホームページ https://www.biwakogakuin.ac.jp/introduction/idea#diploma）</p>	
(概要) 子ども学科	
知識・理解	子どもの心身の成長・発達に対し、一人ひとりの学習や生活を支援しうる教育、保育、福祉について専門的知識を修得している。
思考・判断	教育をめぐる様々な問題状況を積極的に予見・発見し、的確な処置のできる視座を有している。
技能・表現	教育者として教育への情熱と倫理観を持ち、高い技能と豊かな表現力を身につけている。
関心・意欲	自己の学習課題を明確にし、課題解決のための継続的な研鑽ができる。
態度	人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を持ち、国際的な視野に立って、地域社会の一員として適切な行動ができる。
スポーツ教育学科	
知識・理解	人間の発達や地域の発展に対し、スポーツが貢献しうるための専門的知識や技能を修得している。
思考・判断	スポーツをめぐる様々な問題状況を積極的に発見し、国際的な視野を持ち的確な判断ができる。
技能・表現	スポーツ教育への情熱と倫理観を持ち、高い技能と豊かな表現力を身につけている。
関心・意欲	人間と地域に対し高い関心を持ち、課題解決のための継続的な研鑽ができる。
態度	人間と地域に対し直接的な関わりを基本とし、現場での適切な行動ができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：学生ハンドブック ホームページ https://www.biwakogakuin.ac.jp/introduction/idea#curriculum）</p>	
(概要) 子ども学科	
<p>教育学、福祉学、保育学、心理学、社会学などの広範な分野の教育・研究を行い、教育と福祉の視点を持った子育てを探究するとともに、国際的な視野を育成し、教育、福祉の分野で地域社会に貢献できる人材を育成する。</p>	
スポーツ教育学科	
<p>教育学、福祉学、スポーツ科学分野の教育・研究を行い、教育と福祉の視点を持ったスポーツ教育のスペシャリストを養成するとともに、国際的な視野を育成し、教育、福祉、スポーツ分野で地域社会に貢献できる人材を育成する。</p>	
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学案内 ホームページ https://www.biwakogakuin.ac.jp/introduction/idea#admission）</p>	
(概要)	
子ども学科	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の子どもについて、いろいろと専門的に研究したいと思う人 2. 子どもへの深い愛情を持ち、幼児・児童教育及び保育への強い情熱を有するとともに、人間にかかわる幅広い分野に関心を持った人 3. 保護者や地域コミュニティに積極的にかかわり、学校・家庭・行政・NPOなどの教育・福祉に係る連携・協働のもとに、次世代の子ども育成と支援活動に参画したい人 4. 人格や発達の多様性を理解し、一人ひとりの固有の成長の可能性を信じることのできる人 	

5. 子どもを取り巻く諸問題を真剣に受け止め、教育、保育、福祉の現場で自ら問題解決に取り組もうとする人

スポーツ教育学科

1. スポーツについて、多角的・専門的に研究したいと思う人
2. スポーツを通じて、人間教育や地域形成を行うことに強い情熱を有する人
3. 地域コミュニティに積極的にかかわり、学校・家庭・行政・企業・NPOなどとの連携・協働に関わっていく意欲のある人
4. 地域社会の多様性を理解し、地域の固有性に根ざした取り組みを世界にアピールしたい人
5. スポーツを取り巻く諸問題を真剣に受け止め、教育や福祉の現場で自ら問題解決に取り組もうとする人

① 教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ

<https://www.biwakogakuin.ac.jp/wp-content/uploads/2019/05/jikotenken-u2018.pdf>

③ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）								
学部等名	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計	設置基準上の 必要専任教員数
—	1人	—					1人	—
教育福祉学部	—	12人	5人	8人	1人	人	26人	23人
	—	人	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）								
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計		
人			48人			48人		
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法：ホームページ https://cns.newton.ac.jp/public/v2kgr/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）								
アンケート（授業改善、授業評価）、公開授業、卒業生アンケート、シラバスの書き方研修、大学生基礎力調査報告会、全学F D研修会（×2回）								

④ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教育福祉学部	120人	123人	102%	510人	422人	82%	15人	2人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	120人	123人	102%	510人	422人	82%	15人	2人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教育福祉学部	84 人 (100%)	0 人 (0 %)	71 人 (84.5%)	13 人 (15.5 %)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	84 人 (100%)	0 人 (0 %)	71 人 (84.5%)	13 人 (15.5 %)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
https://www.biwakogakuin.ac.jp/education_and_welfar/recruit				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
教育福祉学部	108 人 (100%)	82 人 (75.9 %)	5 人 (4.6 %)	21 人 (19.4 %)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	108 人 (100%)	82 人 (75.9 %)	5 人 (4.6 %)	21 人 (19.4 %)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業科目について、シラバスを作成し公開している。 ・作成項目は全 23 項目。 <p>【講義コード、講義名、講義区分、基準単位数、授業に関する問い合わせ先、必選区分、配当年次、受講者制限、担当教員、担到達目標、授業概要、授業計画表(学習内容、キーワード、学習課題(予習・復習))、教科書、参考書・参考資料等、上記到達目標の評価の方法、履修しておくべきことが望まれ科目、教材費用・実習費用等の負担費用、その他 特記事項、備考、授業用 URL、授業用 E-mail】</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・各授業科目の単位認定にあたっては、試験・レポート等、シラバスに記載された方法に基づき評価がなされる。 ・欠席が全授業数の 3 分の 1 以上になると、単位が認定されない。

・評価と点数の関係は、以下の通りである。

	評点	評価	判定内容
合格	100～90点	S A	特に優れた成績を示した
	89～80点	A	優れた成績を示した
	79～70点	B	妥当と認められる成績を示した
	69～60点	C	合格と認められる最低限度の成績を示した
不合格	59～0点	D	合格と認められるに足る成績を示さなかった
	出席日数不足	H	

・両学科とも「卒業研究」（論文・制作・演奏等）の単位修得が必修となっている。
 ・卒業研究を踏まえた単位修得の状況を確認し、卒業を認定している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育福祉学部	子ども学科	124 単位	有・無	24 単位
	スポーツ教育学科	124 単位	有・無	24 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：ホームページ https://www.biwakogakuin.ac.jp/wp-content/uploads/2018/05/hyouka2018.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance>

⑧授業料、入学料その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	施設設備費 ※1	免許・資格 登録費	合計
教育福祉 学部	子ども	830,000 円	230,000 円	270,000 円	※2	1,330,000 円
	スポーツ教育	830,000 円	230,000 円	270,000 円	※2	1,330,000 円

※1 3年生の施設設備費 260,000 円、4年生の施設設備費 250,000 円

※2 免許・資格課程履修登録（実習）費を登録状況に合わせて別途請求

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要) 学内奨学金制度として、特別奨学生、スポーツ特別奨学生、公務員奨励金、資格取得奨励金を設けている。</p> <p>特別奨学生は、教員を目指すなど強い意欲をもって頑張る学生に対して、学費を半額免除する制度（募集枠10名）。</p> <p>スポーツ特別奨学生は、本学のスポーツ活動の活性化に貢献し、さらに夢に向かって頑張る学生に対して、学費を減免する制度（募集枠5名程度）</p> <p>公務員奨励金は、公務員を目指す学生が公務員対策講座を受講し公務員に採用されたときに、公務員対策講座受講料を奨励金として支給するものである。</p> <p>資格取得奨励金は、本学が定める資格・検定試験に合格したときに、受験料の一部を支給する制度である。</p> <p>また、ファミリー優遇制度があり、受験生の兄弟・姉妹・親子が本学を卒業または在学し</p>

ている場合は、入学金の半額を免除、さらに同時在籍期間中は授業料を半額免除している。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要) 少人数のクラス担任制をとることにより面談で学生の進路希望を把握するとともに、学生一人ひとりの進路希望に合わせたキャリア支援を、組織的かつ計画的に行うサポート体制（「びわ学キャリア塾」）をとっている。具体的には大学や短大、学科といった垣根をなくし、「全学科」と「進路・就職支援センター」が連携して学生の進路希望を実現する「オールびわ学体制」で取り組んでいる。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要) クラス担任制をとることにより、日ごろから学生との連絡を密にし、一人ひとりの学生生活全般を把握している。悩み等の相談は学生相談室を設け学科ごとに担当を決めて対応している。また、健康相談や人権・ハラスメント等に係る相談についても担当を置いて対応し必要に応じて関係機関とも連携し支援している。

特別な支援が必要な学生に対しては修学特別支援室を設け、定例および適宜行う会議で情報を共有し支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance>